

2025 年度研究大会 プログラム [最終版]

11 月 23 日 (日) 法政大学市ヶ谷キャンパス

会場案内: **G401**、**G402** 富士見ゲート 4 階 **F309** 富士見坂校舎 3 階**G401** 全体会 I 司会: 郷司 雅子 (埼玉県立浦和北高等学校)

9:20 ~ 9:25 開会式 挨拶: 研究所所長 伊藤 雄二 (大東文化大学)

9:25 ~ 9:50 会員総会 司会: 常務理事 手島 良 (武蔵高等学校中学校)

10:00 ~ 11:30 協議会 I

F309 指導法研究《第 3 研究グループ》: ペア・ワーク

現在、ペア・ワークは多くの授業で日常的に見られる活動ですが、効果的に行われているのでしょうか。本発表では、ペア・ワークは何のために行うのか、実施にあたってどんな問題点があり、それらをどのように改善したらよいかを検討します。具体的な活動例も提示し、ペア・ワークを行うにあたっての留意点をチェックリストとして提案します。

司会・解説者: 小菅 和也 (武蔵野大学名誉教授) 発表者: 山崎 勝 (埼玉県立和光国際高等学校)

G401 パーマー研究《第 6 研究グループ》: パーマーに学ぶ授業の進め方 - acoustic image 形成のためのドリルを考える

高校生でも発問には単語で返しがちで、習った表現がなかなか言えないのはなぜでしょうか。英文がすぐに口から出るためには acoustic image (音声を聞くと即座に意味を持って浮かぶ聴覚像、また即座に発声できるための聴覚像) の形成が欠かせません。では具体的にどのような練習をすれば良いのでしょうか。パーマーの教材を実演で紹介し、現在の高校教科書を素材にしたドリルを考えます。

司会者: 浅野 伸子 (東京都立小山台高等学校)

発表者: 久保野 りえ (都留文科大学) 栖原 昂 (筑波大学附属中学校) 山本 智恵子 (白百合学園中学高等学校)

G402 中学高校英語研究《第 26 研究グループ》: 高校 1 年生の授業 - the same material, different teachers -

英語コミュニケーション I の教科書の 1 レッスンを題材に、グループのメンバーそれぞれで指導案を作成しました。各授業者の考え、生徒に合わせた指導目標や活動内容、評価方法などについてグループ内で意見を出しあい検討しました。大会では、このうちの 2 つの指導案に基づいた授業の実際をお見せし、参加者の皆さんからのご意見やご質問を伺います。

司会者: 鈴木 文也 (高崎健康福祉大学)

発表者: 高橋 淳 (兵庫県立兵庫高等学校) 長堀 巧 (千葉県立野田中央高等学校)

11:30 ~ 12:30 休憩 / 出版社による展示・販売 (富士見ゲート 1 階)

12:30 ~ 14:30 協議会 II

F309 会員発表 司会者: 北出 義伸 (立正大学付属立正中学校高等学校)1. 小学校英語における「質問一応答型の文練習」の理論的考察 - 復唱・暗記の *saying* から、意図的発話の *speaking* へ -

発表者: 美留町 美希子 (東京都品川区立中延小学校)

2. 英語コミュニケーション I におけるプロジェクト - 高校の教科書を工夫して効果的な発表を促す -

発表者: 下山 宣子 (東京都立多摩科学技術高等学校)

3. 高校 2 年「英語コミュニケーション II」の授業における「思考力・判断力・表現力」の育成を目指した生成 AI を活用したライティング活動

発表者: 宮崎 遼 (駒沢学園女子高等学校)

4. 大学生の英語学習 - 目標設定と振り返りによる行動促進の授業デザイン -

発表者: 澁井 とし子 (東京福祉大学)

G401 授業研究《第5研究グループ》：「英語コミュニケーションⅠ」生徒とのやり取りを重視した授業改善の記録

本発表では、1名の授業者が同一クラス・同一科目において実施した3回の授業と、その都度行われた検討会を通じて、授業者が授業改善に取り組んだプロセスを報告します。今年度の授業者は教歴6年目で、高校1年生の授業において、生徒と教師、また生徒同士のやり取りを重視しながら、英語で指導することを目指しています。毎回の検討会での振り返りをもとにどのような改善がなされ、授業がどのように変化していったのか、実際の授業ビデオをお見せしながら、その実践の軌跡を示します。

司会者：小宮山 紗智（成蹊中学・高等学校）

授業者：荘司 竜斗（成蹊中学・高等学校） 助言者：福島 玲枝（畿央大学）

G402 小学校英語教育研究《第10研究グループ》：指導者とのやり取りを通して育てる英語を使う力 ～子どもが聞きたくなる・話したくなる指導の工夫～

子どもたちは、どのようにして英語を使う力を身に付けていくのでしょうか。今年度、第10研究グループでは、子どもたちが英語を使いたくなる活動はどのようなものか、指導者は子どもたちとのやり取りの中で、どのように聞かせ、発話を誘い出していくのかを研究しています。本発表では、子どものことばの学びに寄り添いながら、聞きたくなる・話したくなる指導の工夫を、具体的な実践例とともに提案します。

司会者：渡部 尚美（産業能率大学）

発表者：川副 理美（田園調布雙葉小学校） 来住野 実咲（東京都小平市立小平第十一小学校）

村田 依玖美（東京都港区立東町小学校）

G401 全体会Ⅱ 司会：郷司 雅子（埼玉県立浦和北高等学校）

14:45-15:05 贈賞式 1) パーマー賞 2) 外国語教育研究賞 3) 若林俊輔奨励賞

公開授業「中学1年生の授業」授業者：栖原 昂（筑波大学附属中学校）2024年度パーマー賞学校賞受賞

新出文法である三単現のs/esの導入と教科書題材の導入を経て、教科書本文の音読まで行った単元初回の授業をご覧ください。この単元の成果として後日行ったスピーチ活動も合わせてご紹介します。

一般会場 15:15-17:15 G401

司会者：市林 竜（北海道教育大学附属釧路義務教育学校）解説者：久保野 雅史（神奈川大学）

学生会場 15:10-17:20 G402 教員志望者を対象に、丁寧な解説を行います

司会者：日高 由美子（東京都立桜修館中等教育学校） 解説者：久保野 りえ（都留文科大学）

お申し込み・ご参加について（お願い）

- ◇ 当日の参加申し込みも可能ですが、運営準備の都合上、できる限り事前申し込みにご協力ください。事前申し込みは11月22日(土) 12:00 まで受け付けます。参加申し込み[クリック]→ [会員・一般](#) [学生](#)
- ◇ 会員は無料、非会員の方は受付で参加費 3,000 円を申し受けます（現金のみ）。非会員の学生は受付で学生証を提示した場合、参加費を免除します。
- ◇ **会場で資料の配布は行いません。**資料集のリンク（当日配布）からデータでご確認ください。事前申し込みの方へは大会前に資料集のリンクをお届けします、必要に応じてダウンロードや印刷をしてください。大会当日は会場で wi-fi が使用できる予定です。
- ◇ 大会終了後、JR 飯田橋駅西口付近で懇親会を開催します。時間は 18:30～20:00、参加費は 5,500 円（学生割引あり）、の予定です。参加申し込みフォームで 11 月 15 日(土)まで受け付けます。
- ◇ 昼食は構内でお取りいただけます、大学構内にコンビニもあります。ゴミは各自お持ち帰りください。
- ◇ 会場（法政大学）へのアクセスは[こちら](#)。
受付は富士見ゲート1階学生ホール(右図②)です。

